## 令和6年度

# 宇部市民意識調査報告書



# 目 次

第	1章	調査方法	1
1	語	查目的	1
2	調	查地域	1
3	調	查期間	1
4	語	査対象及び調査方法	1
5	標	本数及び回収結果	1
6	調	査結果の表示方法	2
7	設	問の概要	2
第:	2章	調査結果	3
1	口	答者属性	3
2	宇	部市の住みやすさについて	8
3		部市のまちやご自身について思うこと	
	(1) j	E業や雇用環境について	28
	(2)	・ - 育て支援や教育環境について	33
	(3)	見光やイベント、スポーツ・文化活動について	38
	(4)	、権尊重や健康・福祉・医療について	44
	(5)	ュミュニティや環境保全、安心安全、都市基盤などについて	54
	(6)	「	63
	(7)	「民の行動等に関する分析	79
4	第	五次宇部市総合計画 前期実行計画 各施策の満足度・重要度について	91
	(1)	ト施策の満足度・重要度	91
	(2)	・ テイフステージ別の満足度	98
	(3)	ペートフォリオ分析	109
第:	3章	自由意見	129
資制	斜編.		131
		答状況	
1		台への 間査票での回答とインターネットでの回答の割合	
		<u>  1                                 </u>	
n		6重票とインター不ツトの回合有属性 査票	
	, 市	目 示	133

## 第1章 調査方法

#### 1 調査目的

本調査は、「第五次宇部市総合計画」を効率的かつ効果的に推進するため、市の施策に係る市民ニーズや満足度を把握するとともに、今後の施策展開に向けた基礎資料として活用することを目的に実施したものです。

#### 2 調査地域

宇部市全域

#### 3 調査期間

令和6年7月16日~7月31日

#### 4 調査対象及び調査方法

- ・市内全域の満18歳以上の市民から抽出した3,000人 (令和6年6月1日現在の住民基本台帳を基に層化無作為抽出を行った。)
- ・調査対象者個人宛に郵便で配付 (郵送による回収又はインターネットによる回答)

### 5 標本数及び回収結果

標本数(配布数)	有効回答数	有効回答率
3,000 人	1,363人	45.4%

#### 調査(アンケート)の有意性

本調査のように、全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査においては、統計上の有意性を確保するために、母集団の規模や許容誤差、信頼度等を踏まえ、必要標本数を満たす必要があります。

必要標本数は、下記の式により算出することができ、本調査の場合、n(必要標本数)=384 となるため、 有効回答数(1,363人)がこれを上回っていることから、有意性の水準を確保していると言えます。

$$n = \frac{N}{\left(\frac{e}{k}\right)^2 - \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

n=必要標本数、N=母集団数(市の人口)、

e=許容誤差(5%)、P=回答比率(50%)、k=信頼度係数(1.96 に設定→信頼度 95%として)

#### 6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の回答数の合計は調査数を超えることがあるとともに、回答割合の合計は 100.0% を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を除いているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。
- ・設問に対し回答がないもの(無回答)は、基本的に集計から除いています。(ただし、回答者の属性(P3~P7)や令和5年度調査との比較においては、無回答も含めて集計しています。)

#### 7 設問の概要

- (1) あなた自身のことについて  $(Q1 \sim Q7)$
- (2) 宇部市の住みやすさについて (Q8~Q15)
- (3) 宇部市のまちやご自身について思うこと (Q16~Q52)
  - ① 産業や雇用環境について (Q16~Q19)
  - ② 子育て支援や教育環境について (Q20~Q24)
  - ③ 観光やイベント、スポーツ・文化活動について (Q25~Q29)
  - ④ 人権尊重や健康・福祉・医療について (Q30~Q36)
  - ⑤ コミュニティや環境保全、安心安全、都市基盤などについて(Q37~Q45)
  - ⑥ 行政運営について (Q46~Q52)
- (4) 第五次宇部市総合計画 前期実行計画 各施策の満足度・重要度について (Q53)